

付録 技術基準の一覧

無線設備	高度MCA制御局等
試験項目	
周波数範囲	送信：940MHz～945MHz 受信：895MHz～900MHz
周波数の許容偏差	空中線電力38dBm超え $\pm(0.05 \times f \times 10^{-6} + 12)$ Hz 空中線電力20dBm超え38dBm以下 $\pm(0.1 \times f \times 10^{-6} + 12)$ Hz 空中線電力20dBm以下 $\pm(0.25 \times f \times 10^{-6} + 12)$ Hz f：送信周波数（単位Hz）
占有周波数帯幅の許容値	5MHz
スプリアス発射又は不要発射の強度（帯域外領域）	離調周波数 50kHz以上5.05MHz未満： -5.5-1.4×(Δf-0.05) dBm/100kHz以下 Δfは、離調周波数（MHz） 離調周波数 5.05MHz以上10.05MHz未満： -12.5 dBm/100kHz以下 離調周波数 10.05MHz以上：-13 dBm/100kHz以下 離調周波数：送信周波数帯域の端から不要発射の強度の測定帯域の中心周波数までの差の周波数 詳細は本文参照
スプリアス発射又は不要発射の強度（スプリアス領域）	9kHz以上150kHz未満 -13 dBm/1kHz以下 150kHz以上30MHz未満 -13 dBm/10kHz以下 30MHz以上1,000MHz未満 -13 dBm/100kHz以下 1,000MHz以上12.75GHz未満 (1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下、 2,010MHz以上2,025MHz以下を除く。) -13 dBm/1MHz以下 1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下 -41 dBm/300kHz以下 2,010MHz以上2,025MHz以下 -52 dBm/1MHz以下 測定範囲：基地局が使用する周波数帯の端から10MHz以上離れた周波数帯 詳細は本文参照
スプリアス発射又は不要発射の強度（送信相互変調特性）	妨害波の条件 希望波の送信周波数帯域の端から±2.5MHz、±7.5MHz及び±12.5MHz離れた帯域幅が5MHzの変調された妨害波を希望波の定格出力より30dB低い送信電力で加えた場合 相互変調波の電力 帯域外領域及びスプリアス領域における不要発射の強度の許容値並びに隣接チャネル漏洩電力の許容値以下 詳細は本文参照